

令和3年度  
第2回 防災と保健・福祉の連携モデル  
検討のための意見交換会

2022.3.16

同志社大学  
立木先生

トーク  
グラフィッカー

●質疑応答

①

5年ご  
どのように  
進める??

リスク  
層を  
抽出

民生委員・  
専門職  
当事者  
自己決定

当事者意識の  
低い地域は??

まずは  
どこから??

国の指針  
P19.  
STEP1が

滋賀モデルの更新について

誰一人取り残さない

つなぎ  
つながり  
つなげる

その先

●取組の概要

事前準備 → アセスメント → 計画作成・検証

ハザードから  
見るに  
目的に...

●計画作成の優先度

① 心身の状況  
② 居住実態・社会的孤立の状況  
③ ハザードの状況

個人に  
フォーカス

順番

②

① 心身の状況

例えば...

- 要介護認定調査 データ
- 障害支援区分認定調査

② 居住実態・社会的孤立の状況

- 福祉専門職への確認

③ ハザードの状況

- ハザードマップ
- 防災情報マップ

国のガイドラインの  
順番で  
基盤を

今救わないと  
いらい人が  
分界を超えた  
優先度付け

第1回意見交換会の振り返り

滋賀県  
防災危機管理局  
川田さん

●前回会議

R3. 11.5

滋賀モデル  
概要

モデル  
地域の  
取組

- 大津市
- 高島市

大きな目標  
「誰一人  
とり残さない」

まずは  
どこから??

●福祉専門職の報酬

交付税  
措置

●避難先の調整

福祉・一般避難所  
以外にも  
病院やホテルなど

身心の状況に  
踏まえて

●タイムラインの活用

防災対応力  
向上シート

しがマイ  
タイムライン

ローリスクの活用など

●各分野の連結したアプローチ

高齢者  
障害者  
医療的  
福祉  
福祉  
ケア

事前準備 → アセスメント → 計画作成・検証

各分野が連結し

●次年度

滋賀モデル

他の市町  
へも

人材育成の  
支援

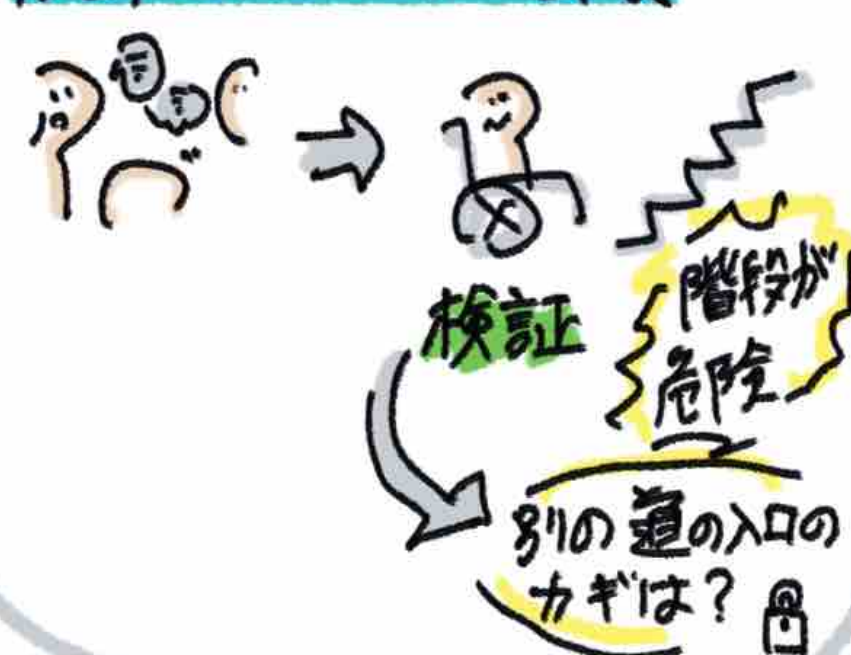
④



大津市の取組の最終報告



⑤ 高齢モデルのケース会議



⑥ 計画の作成について

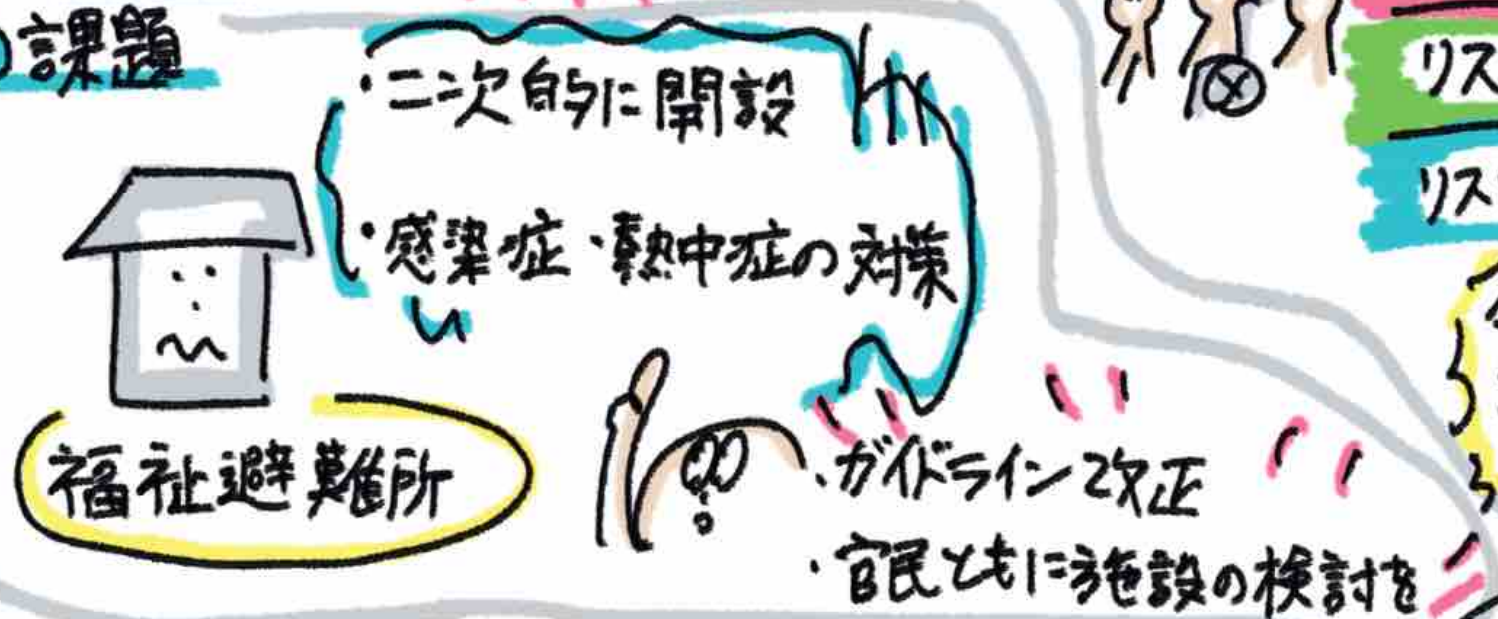
・滋賀モデル取組フロー



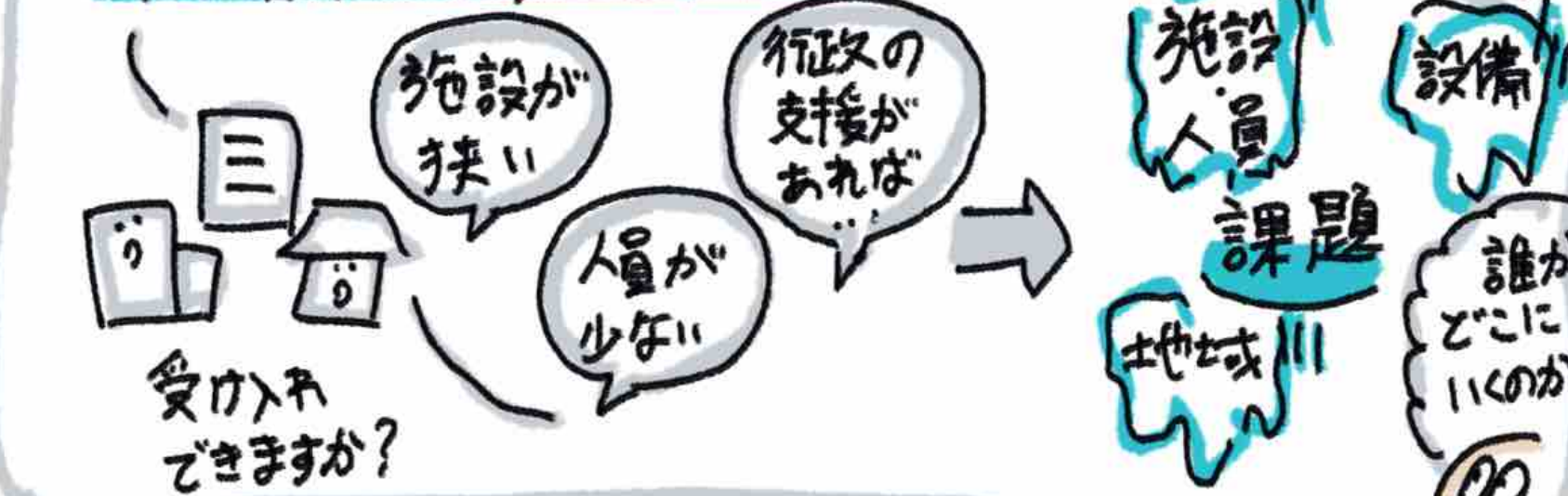
⑤ 障害モデルのケース会議



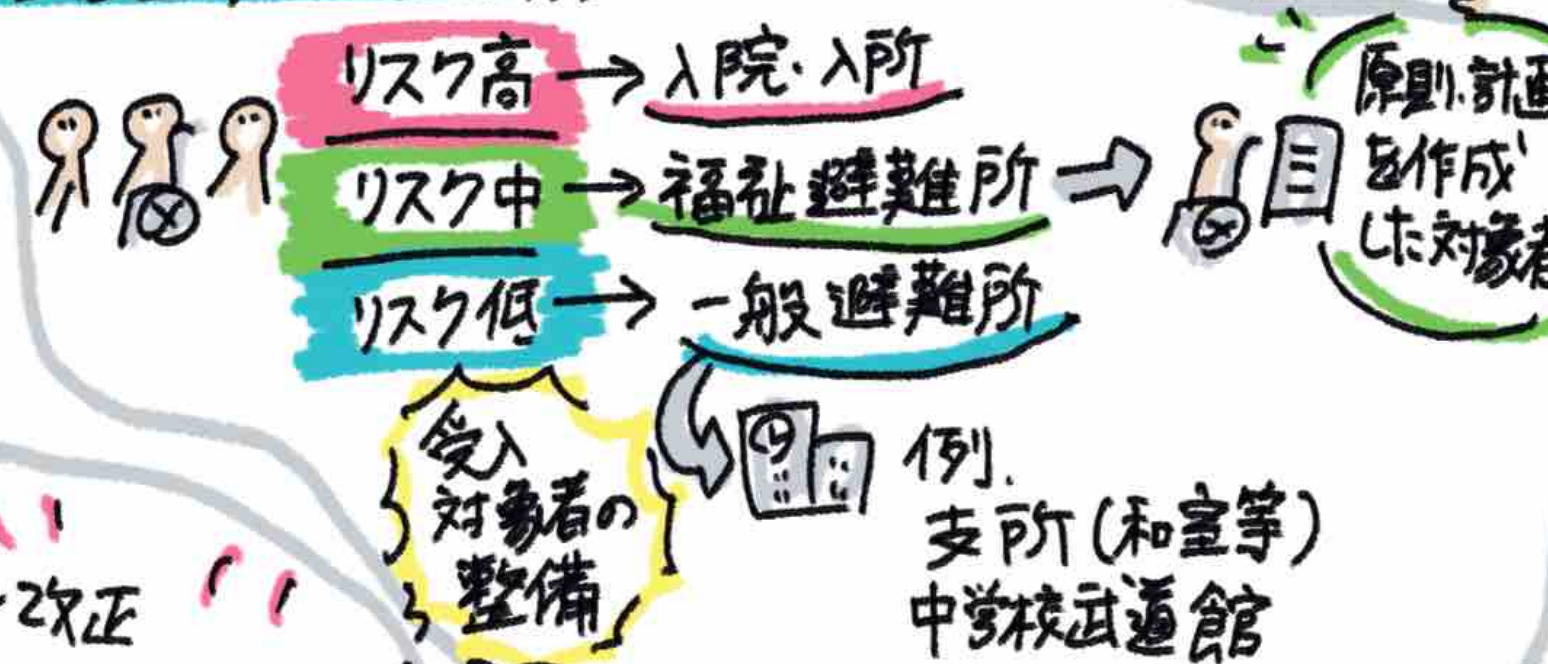
⑥ 課題



⑥ 障害福祉施設へのアンケート



⑥ 福祉避難所のリスク分類



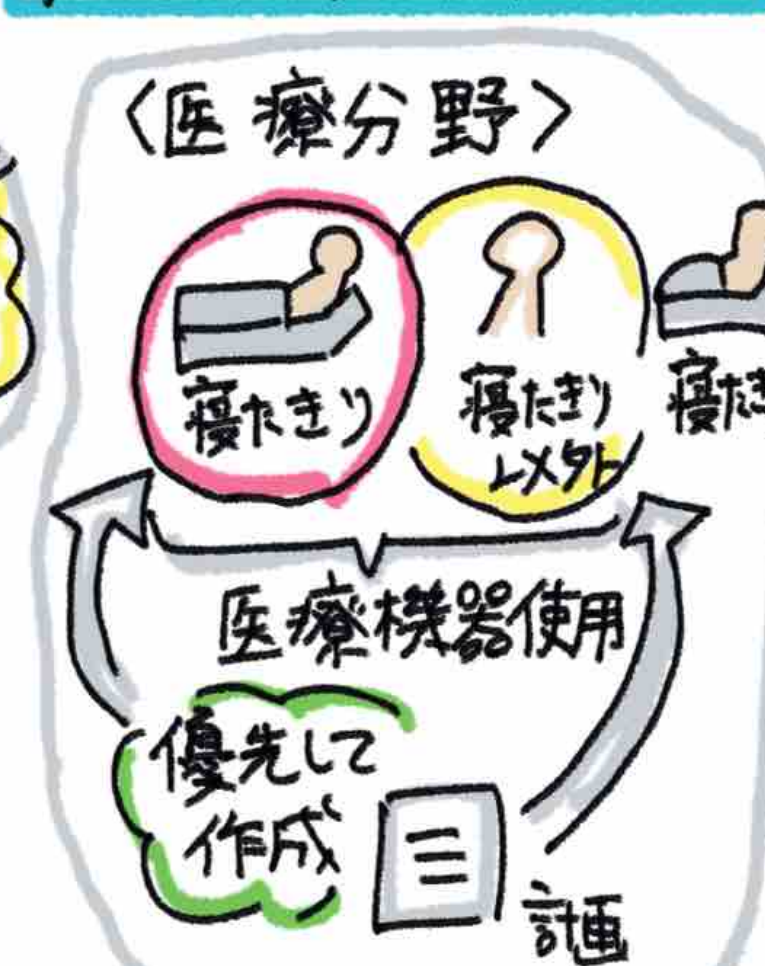
⑥ 短期なのか長期の開設なのか



⑥ 今後の進め方



⑦ 専門職の参画に関する取組



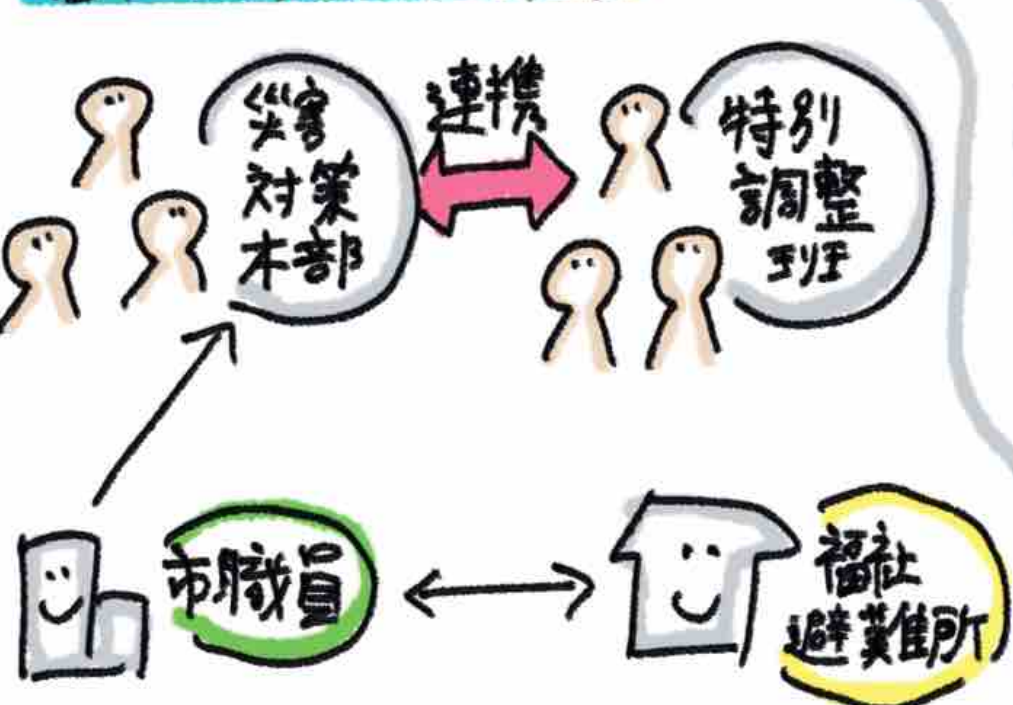
⑥ 当事者カアセスメント



⑥ ケース会議



⑥ 福祉避難所の運営



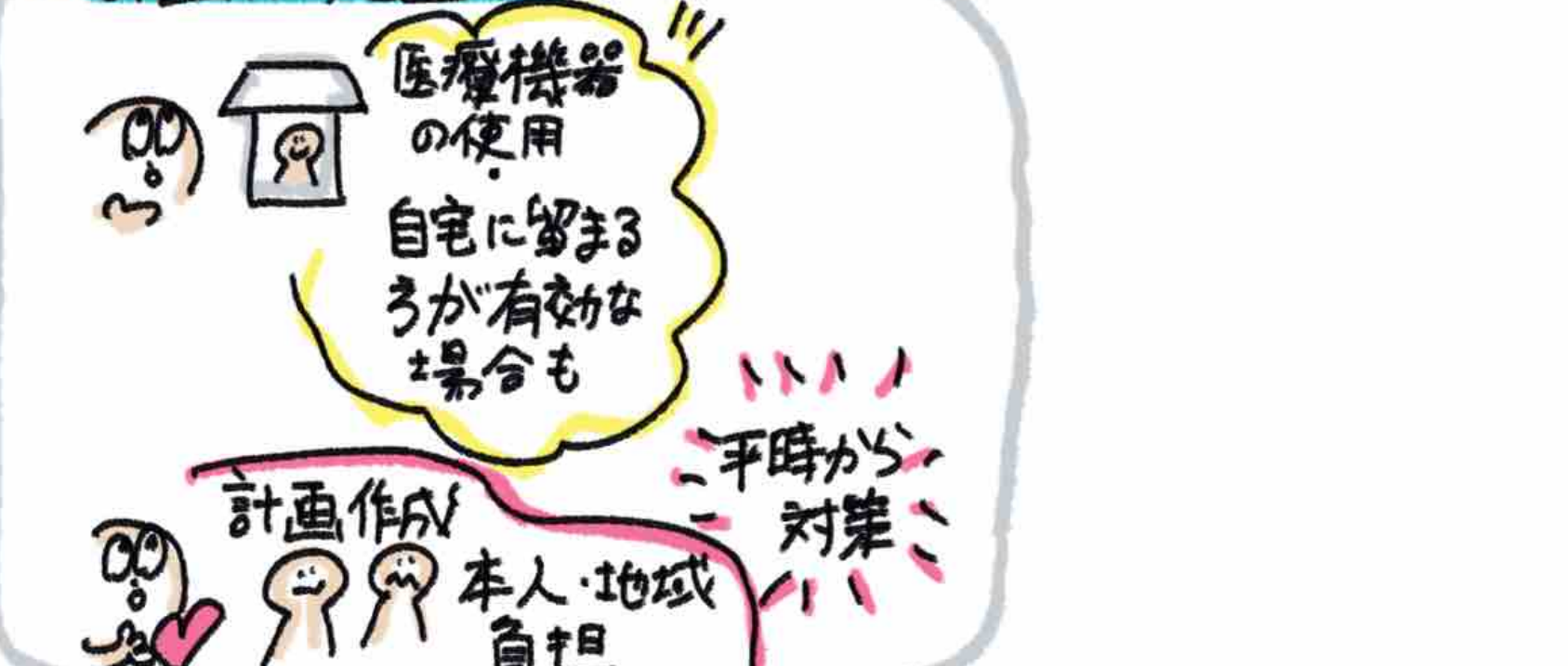
⑥ 委託方法



⑥ 訓練



⑥ 計画作成を通じ





高島市の取組の最終報告



これまでの取組  
滋賀県と国  
モデル事業

水平展開  
本格実施

9 市内・外の関係者との  
連携・連結



協議・取組

優先順位について

湖南介護支援  
専門員連絡協議会

46,000人 市民全体  
優先して作成  
約220人

得意分野を活かした分担  
地域の資源 当事者の  
調整  
区自治体 専門職 行政

10 越境について



課題

福祉避難所との  
連携

優先して  
作成する  
以外

同意を  
どう得る  
...

モデル事例

障がい分野  
高齢分野

アセスメント

医療的ケア見分野

チェックシート  
を活用 → ツールで  
一本化

地域調整  
会議

訓練

災害に  
なると  
...

ケアマネ  
が中心

国土の  
荷物の  
準備

当事者の  
意見を  
最大限尊重

キーマンは  
専門職

地域  
ぐるみで

来年度

①ハイリスク者の  
計画作成

②指定福祉避難所  
制度の活用

③ミドル・ローリスク  
の多への計画作成の  
普及啓発

調整  
マイタイム  
ラインの活用

関係者  
スクラム

11 推進体制について

市役所内  
市内連携体制

市外  
協議会  
WG  
引き続き

見えてきたこと

社会から  
求められている  
取組

信念を  
もって  
やり抜く

ソフト + ハード  
心を通わせて  
ハートの対策

専門職の参画に関する取組紹介

介護支援専門員の災害時支援

ケース対応  
に負担が  
大きい

目指す姿の  
共有

全体的な  
取組に

研修会などに参加して

個別  
避難  
計画の  
作成

防災  
意識  
向上

ネット  
ワーク  
づくり

優先順位チェック  
リストの作成を通じて

ハイ  
リスク者  
ミドル  
リスク者  
ロー  
リスク者

12 計画作成にとりくむメリット

災害時の  
支援の優先順位  
など

ケアマネ

地域の  
連携  
難しい

行政と  
役割  
分担

求められる役割

その思いを  
伝える  
代弁者

ケースに  
寄り添い

つながる  
つなげる

訪問看護ステーションのこれまでの取組

支援の優先度リスト

作成  
チェック

防災マニュアル  
見直し  
など

モデル事業に参加してから

情報共有

研修・WG会議

緊急時の  
対応

地域の人に  
本・家宅の  
ことを知らせて

ハザードの  
確認

地域の  
安心・安全



講評・意見交換会



同志社大学  
立木先生

Q. 事例を聞いて、今思っていること

一言

誰一人取り残さない 当事者の気持ちに寄り添う 専門職の得意分野

相談支援 専門員に限らない方がいい

丸投げは困まる

市がコーディネーター

市内外の連携

発信・啓発 多方向への越境 などなど

丸投げではなく一緒に

多方向への越境

つながりの大七切さ

大変そう

市職員がコーディネーター 皆さんの理解が大七切

大変... 難しかった

以前 現金手 → 豊後

フリックの言葉が変わってきている

関係性の構築

関係性

関係者 地域 汗かいて一緒にやるハードル

必要性は分かるけど...

大津市 地域

うちも...

こういうことしているの分かってもらう

危機感のある地域がコラボ

定期的なミーティング

地域に出向く

優先度は? 悩まばきこと

訪問看護もメンバーに入れてください キーパーソンになる部分

対象者の考えの難しさ

市内の体制づくり

関係性の構築

市内の調整

ハイリスク者の選定

これまで 防災 面自的

まず、本当に必要な人に

業務フロー

大津市

高島市

基本的なところから入っていかないと行かない

必要最低限で共通に

様式

業務フローが

1年で話し合うトピックが変化

避難所の立上げ

救助法の適用が少ない

各市町の努力

行政と住民の信頼

避難しよう

この足... コスト 今のままでも

リスク

次年度の動き

内閣府

予算

内容を検討している

クラウド型 避難支援 システム

デジタル化

みなさんがインクルージョン マネージャーになっている

優先度について

県

3つのポイント

心身の状況

独居等の居住実態 社会的孤立の状況

ハザードの状況

滋賀モデル

全国の事例

原点を忘れない

滋賀県全体で

行政